

高耐力柱脚金物75 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 基礎と柱の緊結に使用する柱脚金物です。
- ホールダウン金物の代わりに使用する柱脚金物です。

特長

- 無垢材で高耐力75.0kNまでの引抜き耐力に対応可能です。
- 芯ずれ等のアンカーボルトの施工誤差を吸収でき、施工性が向上します。
- クロムフリー高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。

付属品

偏心座金φ58(M16用)×1枚、丸座金φ40(M16用)×1枚、ドリフトピン×6本



ハウスプラス確認検査(株)性能試験

高耐力柱脚金物75

短期基準接合引張耐力 (Pot) : **75.0kN**

アンカーボルトについて

専用アンカーボルト「高耐力フレックスアンカーボルト(別売品)」をご使用ください。

- 高耐力フレックスアンカーボルト(PZ-FA16-37)

対応可能引張耐力：75.0kN以下

仕様条件

仕様条件	
埋め込み長さ (mm)	300以上*
コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	F _c =21以上

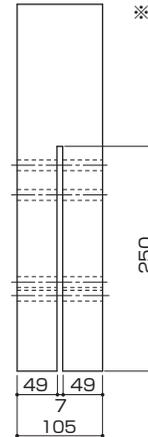
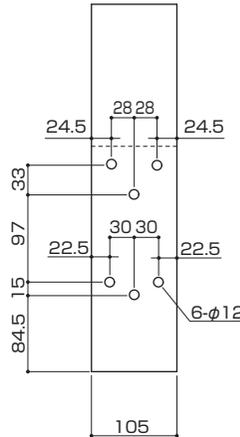
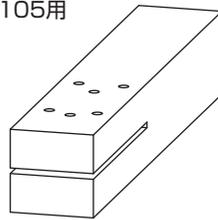
※アンカー笠下からの長さ

本製品と併用した場合の埋め込み長さは、裏面をご参照ください。

木材加工詳細図

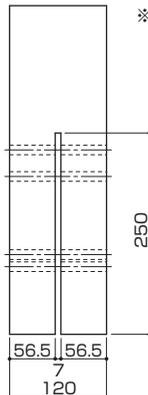
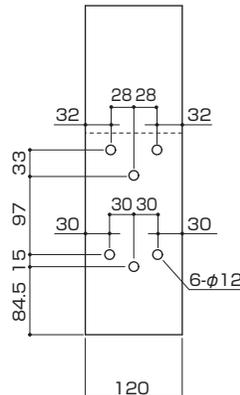
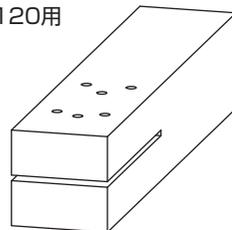
≪ 柱加工図 ≫

105用

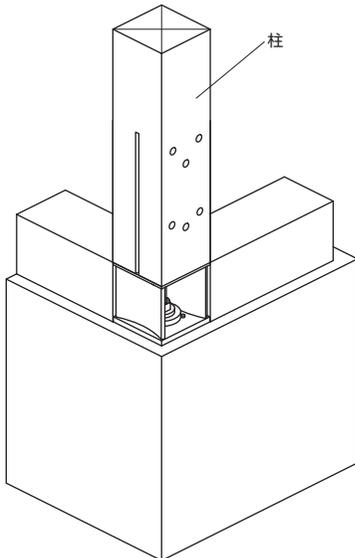


※スリット寸法については、幅7~8mm 長さ250~255mmにてご対応お願い致します。

120用



※スリット寸法については、幅7~8mm 長さ250~255mmにてご対応お願い致します。



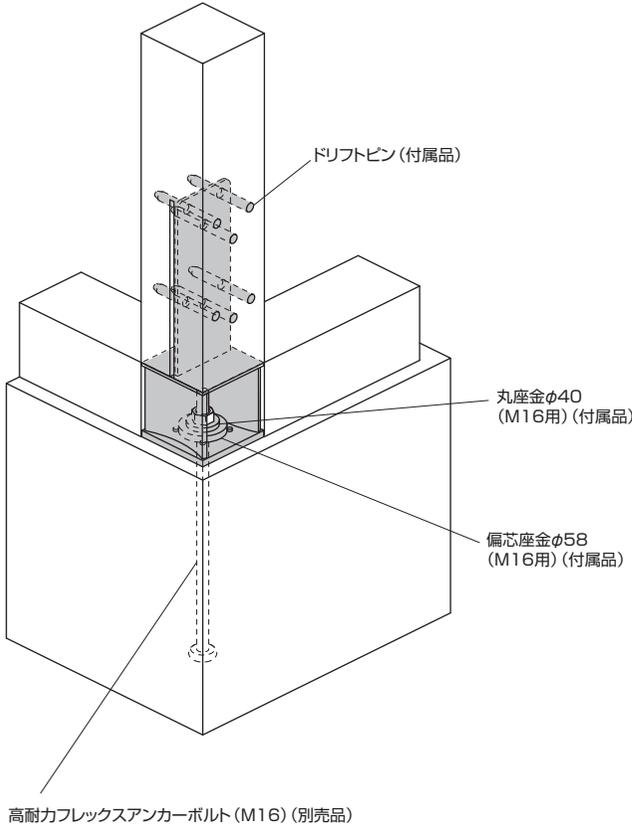
高耐力柱脚金物75 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

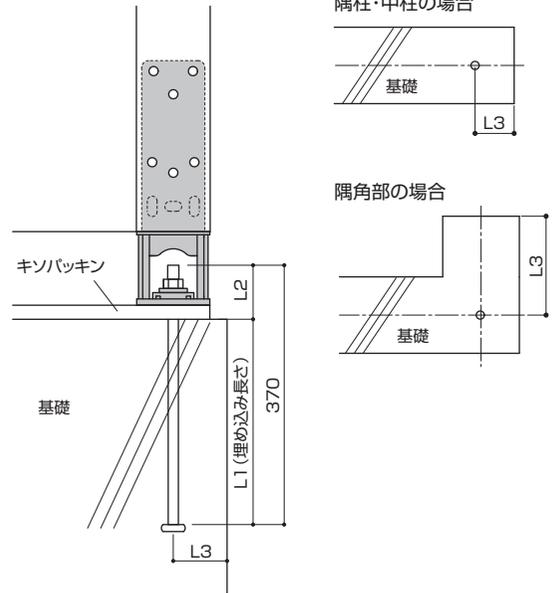
施工方法

- ① 土台部のアンカーボルト(M16)を金物本体に通します。
- ② アンカーボルト(M16)と金物本体を、付属の座金2種類を介して六角ナットで締め付けます。座金は、偏芯座金の上に丸座金を重ねます。
- ③ 金物の上部プレートに柱のスリットを挿入します。
- ④ 金物のドリフトピン孔と木材のドリフトピン孔があっていることを確認します。
- ⑤ ドリフトピン孔にドリフトピンを挿入します。

■取付図



■納まり図



●高耐力フレックスアンカーボルト PZ-FA16-37タイプ仕様条件

土台材 パッキン	105または120 パッキン無	105または120 パッキン有(20mm)
L1	310~320(mm)	300(mm)
L2	50~60(mm)	70(mm)

		必要基礎幅		
		150mm	180mm	210mm
L3	75mm以上	54kN	65kN	75kN
	150mm以上	65kN	75kN	75kN
	250mm以上	75kN	75kN	75kN

※コンクリート設計基準強度： $F_c=21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上

※各種合成構造設計指針より算出

※運用耐力は柱脚金物と基礎のどちらか低い耐力に準じます。

注意事項

- 必ず付属の座金2枚、ドリフトピンで接合してください。
※ドリフトピンの本数を減らしたり、付属部品以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
- 専用アンカーボルト「高耐力フレックスアンカーボルト(別売品)」をご使用ください。
- ナットは必ずアンカーボルトに付属されている高耐力ナットをご使用ください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締め付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 投げ投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱おうと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077